

創刊 3000号

本社のあゆみ



1950(昭和25)年 4月・月刊「旅館新聞」を創刊(社名は旅館新聞社)。タブロイド判2¹建て。発行所は東京・日本橋の日本火災海上ビル内

1957(昭和32)年 7月・タブロイド判4¹建て。旬刊化

1958(昭和33)年 2月・大阪支局開設

1961(昭和36)年 10月・資本金30万円の株式会社。取締役社長に児玉登就任。江口恒明が編集長として入社

1963(昭和38)年 3月・資本金200万円に増資。江口恒明が専務就任

1964(昭和39)年 9月・本社を東京・宝町に移転

1970(昭和45)年 4月・大判4¹建ての週刊紙に

1974(昭和49)年 4月・取締役社長に江口恒明就任。8月・資本金2千万円に増資。10月・本社を東京・西神田の新ビルに移転

1976(昭和51)年 12月・創刊1000号発行

1977(昭和52)年 4月・読者と共同編集を図るため、「日観連支部から」のコーナー開設。同時に通信員制度創設。総理大臣主催の「核をみる会」に江口社長が日本専門新聞協会代表で出席

1979(昭和54)年 11月・「国観連支部から」コーナー開設

1981(昭和56)年 11月・創刊30周年記念号発行。論文コンクールなど実施。11月・旅館新聞社から観光経済新聞社に社名変更

1982(昭和57)年 10月・「公旅連支部から」のコーナー開設

1986(昭和61)年 6月・公旅連創刊30周年記念大会で本社に感謝状。12月・大手旅行業4社トップ座談会を開催。以後定着化

1987(昭和62)年 9月・第1回「にっぽんの温泉100選」実施。旅館人気番付ベスト200も同時発表。10月・創刊1500号発行

1989(平成元)年 4月・「女将商法のあれこれ」の座談会シリーズ(年2回)をスタート。6月・本社主催の美術展を開催(鬼怒川、伊東、箱根)

1990(平成2)年 8月・創刊40周年を迎える

1994(平成6)年 1月・本社を東京・上野に移転。10月・「全旅連から」のコーナー開設

1995(平成7)年 1月・本社推進・キャンペーンテーマ「特消税を地方消費税に吸収しよう」「低価格時代、経営の再構築を推進しよう」「旅行業と旅館・ホテルの真の一体化を」「祝日3連休の国民的な合意を図ろう」を設定。4月・創刊45周年を迎える。7月・紙面で特別地方消費税撤廃キャンペーン開始(96年12月に、99年度限りでの廃止が決定)。9月・委託出版として全旅連各県旅組推薦の女将135人の奮戦記である「おかみ」発行

1996(平成8)年 7月・委託出版として「運輸大臣表彰のプロフィール」発行

1997(平成9)年 1月・「21世紀へ本社のあるべき姿」(経営理念・ビジョン)発表

1998(平成10)年 6月・創刊2000号発行

1999(平成11)年 4月・ホームページ(HP)開設

2001(平成13)年 5月・トラベルジャーナル社と業務提携

2005(平成17)年 1月・日本最大級の新聞・雑誌記事データベース「イーエルネット」の記事配信開始。3月・「日本旅館・ホテル名鑑」発行。7月・「癒しの旅へ」栃木の宿女将達の物語」発行

2006(平成18)年 3月・「5つ星の宿」を発売。11月・「おかみ」出版記念交流の集い」をホテルニューオータニで開催

2007(平成19)年 8月・人民日報グループ(中国)と提携。9月・タウン情報全国ネットワークと提携

2009(平成21)年 1月・創刊2500号発行。3月・世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」と提携。8月・ポータルサイト「サーチナ」と提携

2010(平成22年) 5月・業務拡大のため東京・池之端の井門池之端ビルに移転。観光経済新聞電子版(PC、スマートフォン)の配信を開始

2011(平成23)年 2月・日経テレコン21で記事配信開始

2012(平成24)年 4月・東北支局開設。5月・江口恒明社長逝去。8月・「江口恒明懇話会」をフォーシーズンズホテル椿山荘で開催。積田朋子専務が代表取締役社長就任。江口恒明執筆「今業界の中で」の冊子発行

2014(平成26)年 6月・米国ダウジョーンズ社と提携

2015(平成27)年 5月・江口恒明「3回忌」を椿山荘で開催。同日日文化交流団に社員全員で参加。8月・コンピュータのマルチコピー機「eプリントサービス」で観光経済新聞の販売開始

2016(平成28)年 6月・北海道支局開設

2017(平成29)年 5月・新聞の組版機導入、新聞制作を効率化

2018(平成30)年 1月・有料職業紹介事業開始。4月・江口恒明「7回忌」を椿山荘で開催

2019(令和元)年 9月・創刊3000号を2週にわたり発行

観光業界、社会の動き

- 1949年 運輸省発足、国鉄発足、単一為替レート設定1円360円
- 1961年 運輸省として初めて「観光白書」発表
- 1963年 「観光基本法」制定
- 1964年 海外渡航自由化、東京五輪開催、東海道新幹線開業
- 1965年 第1回「観光週間」
- 1970年 大阪万博開催
- 1972年 札幌冬季五輪開催、山陽新幹線開業、沖縄返還
- 1975年 沖縄国際海洋博開催
- 1978年 成田空港開港、政府が世界観光機関(WTO)加盟
- 1982年 東北新幹線と上越新幹線が開業
- 1983年 東京ディズニーランド開業
- 1985年 東北・上越新幹線が上野駅乗り入れ、関越自動車道全通
- 1987年 国鉄分割・民営化、海外旅行倍増計画(テン・ミリオン計画)策定
- 1988年 青函トンネル開通、90年代観光振興行動計画の策定
- 1989年 昭和天皇崩御
- 1990年 国際花と緑の博覧会(大阪)開催、日本人海外旅行者が1000万人、訪日客300万人を超える
- 1991年 雲仙普賢岳の噴火、東北・上越新幹線が東京駅乗り入れ
- 1992年 観光事業振興助成交付金制度始まる、山形新幹線開業
- 1993年 新「国際観光ホテル整備法」施行、北海道南西沖地震、羽田空港新ターミナル供用開始
- 1994年 コンベンション法施行、関西国際空港開港
- 1995年 阪神・淡路大震災発生、東京で地下鉄サリン事件発生
- 1996年 観光政策審議会で「ウェルカムプラン21」を公表、民間団体が組織する「祝日3連休推進会議」発足
- 1997年 長野新幹線開業
- 1998年 長野冬季五輪開催、明石海峡大橋開通
- 2000年 特別地方消費税廃止、日中文化交流使節団2000の派遣
- 2001年 USJ開業、米国で同時多発テロ発生、東京ディズニーシー開業、日本観光産業団体連合会設立
- 2002年 日韓共催のサッカーW杯開催、北京・人民大会堂で日中外交正常化30周年記念式典
- 2003年 SARSの集団発生、ピジット・ジャパン・キャンペーン推進本部開設、観光立国行動計画策定
- 2004年 浜名湖花博開催
- 2005年 中部国際空港開港、「愛・地球博」開幕、つくばエクスプレス開業
- 2007年 観光立国推進基本法施行、新潟中越沖地震発生
- 2008年 岩手・宮城内陸地震発生、観光庁発足
- 2010年 中国訪日個人観光ビザの基準緩和、東北新幹線全線開業
- 2011年 東日本大震災発生、九州新幹線全線開業、日観協と日本観光産業団体連合会が合併し日本観光振興協会に
- 2012年 観光立国推進基本法閣議決定、東京スカイツリー開業
- 2013年 東京ディズニーリゾート30周年、2020東京五輪決定
- 2014年 消費税が5%から8%に、観光EXPOジャパン開催
- 2015年 北陸新幹線開業、スポーツ庁設置
- 2016年 北海道新幹線開業、熊本地震発生、「山の日」の祝日化開始
- 2017年 プレミアムフライデー実施開始、民泊新法成立
- 2018年 国際観光旅客税法成立、民泊新法施行、北海道胆振東部地震発生、豊洲新市場開場
- 2019年 新元号は「令和」、天皇陛下退位・皇太子殿下即位

2018年10月11日開業

森の風那須
HOTEL MORI NO KAZEN NASU

上品で洗練された大正建築風ホテル。和と洋が溶け合う心地よさにつつまれ、大自然の恵みと心づきを五感で味わうときをお過ごしください。

●那須連山に抱かれる展望大浴場

2018年10月11日開業

四季の館 那須
HOTEL MORI NO KAZEN NASU

大切な人と過ごすかけがえない季節。武家屋敷風の粋な歩道を抜けると、和の風情に満ちた空間が広がり、雅な大人の時間を紡いでいきます。

●やわらかな名湯「美人の湯」

森の風立山
HOTEL MORI NO KAZEN TATEYAMA

トリトリとした肌ざわりの温泉に癒やされながら、富山湾の恵みをいただく贅沢体験。立山黒部アルペンルートの拠点にも相応しい本格温泉ホテルです。

●「美肌の湯」と呼ばれる野趣あふれる露天風呂

森の風鶯宿
HOTEL MORI NO KAZEN UTSUNOMIYA

盛岡の奥座敷として知られる開湯400年の名湯、鶯宿温泉で旅の疲れを癒やし、四季折々の風情や多彩なイベントで充実のホテルライフをお楽しみください。

●パノラマ自慢の「空中露天風呂」岩手山を望みます

2021年オープン予定

日本ハウス・ホテル&リゾートグループに新たなホテル「ホテル四季の館 箱根・芦ノ湖」が誕生します。芦ノ湖を眼下に見下ろすロケーションと檜のふくよかな香りに包まれる心安らぐ大正ロマンスタイルの和のホテルで、非日常の時をご堪能下さい。

株式会社 日本ハウス・ホテル & リゾート

那須那須郡那須町高久1179-2 フリーダイヤル 0120-743-177
 那須那須郡那須町高久1179-2 フリーダイヤル 0120-743-177
 富山県富山市原3-6 TEL 076-481-1126
 岩手県岩手郡平川町鶯宿10-64-1 フリーダイヤル 0120-123-389
 栃木県宇都宮市上大町492番地1 TEL 028-643-5555
 岩手県岩手郡平川町鶯宿10-64-1 TEL 019691-8787